

今日のトピック 米国の雇用統計(2014年7月) 「質」改善は一服も、雇用者数は堅調に増加

ポイント1

雇用者数は6カ月連続で 20万人超の増加

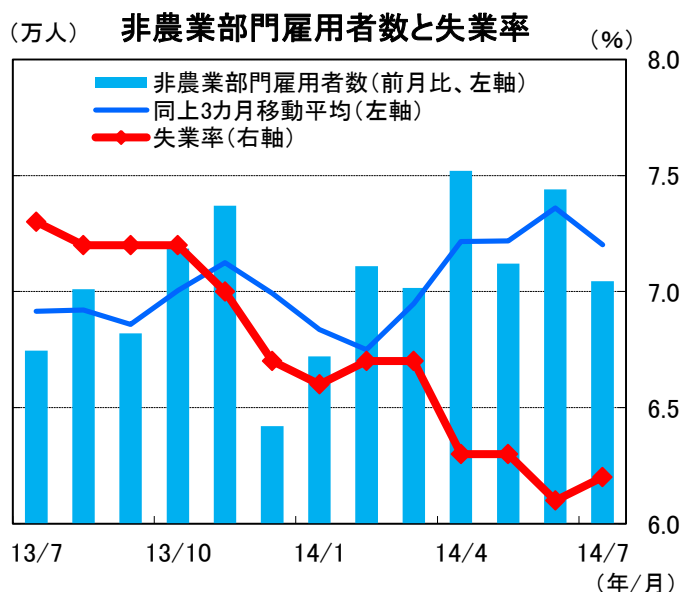
失業率はやや悪化

- 1日に発表された7月の非農業部門雇用者数は前月比+20.9万人と、6カ月連続で20万人超の増加となりました。また、5月、6月分は合計で1.5万人上方修正されました。
- 7月の失業率は6.2%と、前月から0.1ポイント悪化しました。ただし、新たに職探しを始めた人が労働市場に参入したことが主因と考えられ、雇用環境の改善を示唆する内容と思われます。

ポイント2

ほとんどの業種で雇用者が 増加 「質」の改善は一服

- 業種別では、ビジネスサービスが同+4.7万人、製造業が同+2.8万人、建設業が同+2.2万人となったほか、小売業が同+2.7万人、レジャー・娯楽業が+2.1万人となり、ほとんどの業種で雇用者数の増加がみられました。
- 長期失業者(27週以上)は、6月の大幅減少から7月は増加に転じました。また、賃金の上昇は前年同月比+2.0%と、依然2.0%前後の低水準が続いています。長期失業者の多さや賃金上昇の緩慢さといった、「質」の面は改善が一服しました。



(注) データは2013年7月～2014年7月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

雇用者数の堅調な増加は続き、金融緩和策は縮小が続く見込み

- 雇用者数は失業率の安定的な低下に必要な前月比+15万人～20万人を超える水準で推移しています。景況感の改善なども伴い、今後も基調として20万人超のペースで増加することが見込まれます。
- 雇用の改善に伴い、QEは今年10月にも終了が

見込まれます。一方、7月のFOMCの声明文では「依然として未稼働の労働資源が著しく残っている」と指摘されました。QE終了後は雇用や物価など幅広い指標が点検され、利上げは雇用の「質」の改善が十分となる2015年後半以降になる見込みです。

ここも チェック!

2014年08月01日【デイリー No.1,926】米国のGDP成長率(2014年4-6月期速報値)
2014年07月31日【デイリー No.1,925】米国の金融政策(7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。